

JGS 関東 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会
第 8 回 議事録

- 日時：2020 年 1 月 22 日（水） 14：00～17:00
- 場所：地盤工学会 地下階大会議室
- 出席者：桑原（パイルフォーラム）、青木（竹中）、加倉井（パイルフォーラム）、阿部（東京ソイル）、柏（国総研）、片山（東邦地下工機）、小坂井（MFR）、西（安藤ハザマ）、三反畑（安藤ハザマ）、古垣内（東急）、張（東急）、嶋田（大林）、森（熊谷）、福田（戸田）、長澤（清水）、栗本（清水）、原（西松）、伊藤（東亜）、小林（大成）、高岡（三井住友）、梶野（長谷工）、土屋（竹中）、宮本（東洋テクノ）、木谷（三谷セキサン）、田中（大洋基礎）、小川（旭化成）、細田（ジャパンパイル）、山下（不動テトラ）、菅原（丸建興業）、大平（八州建機）、媚山（新潟商事）、山本（地盤試験所）

記録者：福田

注：____欠席

- 提出資料：
 - 8-0 JGS 関東既存杭撤去第 8 回議事次第
 - 8-1-1 第 7 回既存杭の撤去に関する研究委員会_議事録（案）
 - 8-2-1 JGS 大会（案） その 1
 - 8-2-2 WG1 新設杭に干渉する既存杭撤去後の埋戻しについて
 - 8-2-3 WG2 JGS 大会（案） その 2
 - 8-2-4 WG3 JGS 大会（案） その 3
 - 8-3-1 WG1 議事録
 - 8-3-2 WG1 ガイドライン（案）
 - 8-4-1 WG2 活動報告
 - 8-4-2 WG2 アンケート結果
 - 8-4-3 WG2 議事録
 - 8-4-4 WG2 アンケートリスト
 - 8-5-1 WG3 新設杭アンケート集計
 - 8-5-2 WG3 杭別トラブルまとめ
 - 8-5-3 WG3 既存杭による新設杭のトラブル事例

議事題

1. 前回議事録の確認（資料 8-1）

- ・ 以下の修正をもって、前回議事録は承認された。
 - 9. WG3：既存杭アンケート集計より
「アンケート集家」→「アンケート集計」に修正
- ・ 3. 「目標強度」とは qu のイメージか。それとも N 値なのか。
 - 現状決めることができない。今後議論して定める必要がある。

2. JGS 大会梗概案（資料 8-2-1～8-2-4）

青木幹事，各 WG より、説明があった。

1) その 1（全体）に関して

- ・研究の目的、背景がわかるよう記載してほしい。
- ・「残置」→「存置」に統一している。
- ・図-2 はどこで説明するのか。
→「2. 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する土質工学的課題」で説明する。
- ・使用する図、表は各 WG で重複する可能性がある。
→他の WG と調整する。また、投稿するにあたりデータが正しいものか確認する必要がある。
→アンケート結果が随時追加されている。どの時点のデータを使用するか確認する。
- ・連名者をどのように記載するかは、桑原委員長と青木幹事に方針を決めていただく。

2) その 2（WG1）に関して

- ・執筆者は伊藤委員、発表者は嶋田委員である。
- ・図 2 と図 3 の違いはなにか。
→埋戻し方法と攪拌方法を分けて記載している。
→図 2 と図 3 は削除して、文中で説明できないか。もしくは代表的な工法を図で分かりやすく説明することはできないか。
→図 4 で代表的な攪拌方法を説明している。使用する図は再度検討する。
- ・図 5～図 9 はアンケートの集計結果を述べているが、代表的な撤去工法（ケーシング縁切引抜およびオールケーシング破碎撤去）の適用範囲（対象とする杭種、杭径、杭長）などを再度整理し、その結果を掲載することは可能か。
→データを再整理し傾向を確認する。
- ・図 6 中、「場所打ちコンクリート杭（田中式杭）」は「ペDESTAL 杭」として整理する。
- ・図 7 中、「b. 流動化処理土、再生砂」は「流動化処理土」として整理する。

3) その 3（WG2）に関して（資料 8-4-1～8-4-4 を踏まえて議論）

- ・埋戻し土の調査が実施されているアンケート結果（20 件）を分析し、まとめた結果を投稿する。執筆者（発表者）は古垣内主査である。
- ・アンケート結果より、埋戻しの状態を評価しているが、明確な傾向は現時点では見られない。
→貴重なデータであるので、アンケート結果を主に記載、考察していただきたい。
- ・ケーシング破碎撤去工法による埋戻し材の強度が必ずしも安定的でないこともわかった。
→上記の結果を 1～2 編でまとめようとしている。
→1 編でまとめ、ケーシング破碎撤去工法による埋戻し材の強度は図で紹介する程度でよいのでは。

4) その 4（WG3）に関して（資料 8-5-1～8-5-3 を踏まえて議論）

- ・トラブルの種類を WG3 で新たに集計し、トラブル発生の因果関係をまとめている。
- ・表 4、表 5 での件数はトラブル件数のみを表示しているのか、工事件数を表示しているのか。

- 既製杭（トラブル件数）と場所打ち杭（工事件数）で整理方法が異なるため統一する。
- ・ 考察と図の順番が対応していない。
 - 修正する。
- ・ 議論の結果より
 - アンケートからトラブル発生とその因果関係を示すのは難しい。
 - アンケート結果は最小限使用し、これまでの知見から現状の問題点をまとめられないか。
 - 資料 8-5-3 の具体的な事例（2 例程度）を追記し、再度検討する。

3. ガイドライン案

- ・ 時間がなかったため、今回の議論はなし

4. 今後の予定

- ・ 2/10 までに、執筆担当者がマイポケットにアップし、各委員が内容を確認する。
- ・ 次回には大会論文の最終版を提出していただき内容を議論する。

- ・ 次回：2020 年 2 月 17 日（月）14:00～17:00 場所 地盤工学会
- ・ 次々回：2020 年 4 月 16 日（木）14:00～17:00 場所 地盤工学会